

解答・解説

(1) ② (2) ① (3) ③ (4) ④

(1) 正解②

選択肢の和訳

- ① 生徒が修正せずに提出できる完成した作文を書くことによって。
- ② 即座に提案を与え、生徒がより頻繁に練習できるようにすることによって。
- ③ 難しい課題を、より簡単な授業活動に置き換えることによって。
- ④ どの生徒が優れた書き手になるかを、あらかじめ決めることによって。

本文の対応箇所

第1段落第2～4文:

Supporters say the tool can foster language acquisition by offering immediate suggestions. ... This flexibility may make challenging assignments less frightening and allow students to practice more often.

解説

AIはすぐに助言を与え、時間を選ばず利用できるため、生徒がより頻繁に練習できると述べられています。完成作文をそのまま提出させるのではないため、②が正解です。

(2) 正解①

選択肢の和訳

- ① 生徒が内容を十分に理解しないまま、洗練された文章を作る可能性がある。
- ② 教師が完成した作文よりも初期の草稿を高く評価する可能性がある。
- ③ 自信のない生徒が、高度な技術の使用を拒む可能性がある。

- ④ AIによって、将来性のある学習者が文章による助言を一切受けられなくなる可能性がある。

本文の対応箇所

第2段落第2～4文:

If students accept every suggestion, their work may become imitation rather than genuine expression. They may produce sophisticated sentences without developing the competence to explain why those sentences work. An outstanding final essay can therefore hide weak understanding.

解説

AIの提案をすべて受け入れると、仕組みを説明できる力がないまま、見栄えのよい文章だけが完成する可能性があります。したがって①が正解です。

(3) 正解③

選択肢の和訳

- ① AIの提案の多くが文法的に誤っていると証明するため。
- ② すべての生徒の完成作文を同じように優れたものにするため。
- ③ 支援と自分自身の判断には、それぞれ異なる役割があると理解するため。
- ④ 自分が行った修正の理由を説明せずに済むようにするため。

本文の対応箇所

第3段落第2～4文:

They might also require students to compare AI advice with their own choices. Such activities reinforce the distinct roles of assistance and judgment: a tool can offer possibilities, but the student must decide which idea fits the purpose.

解説

AI は選択肢を示せますが、目的に合うものを選ぶのは生徒自身です。比較活動によって「支援」と「判断」の役割の違いを理解させるため、③が正解です。

---

(4) 正解④

選択肢の和訳

- ① 生徒に自信がない場合は、AI に作文を管理させる。
- ② AI が絶対に誤りを犯さないと保証できるまで、使用を禁止する。
- ③ 初期の草稿には誤りがあり得るため、完成した成果物だけを評価する。
- ④ 有用な支援は認めつつ、生徒の思考過程も評価する。

本文の対応箇所

第 4 段落第 1～3 文：

The goal should not be to ban AI or let it control writing. Schools need rules that protect originality while permitting useful support. When teachers judge the thinking behind a text as well as the finished product, AI can assist learning without replacing it.

解説

筆者は AI の全面禁止にも、AI への全面依存にも反対しています。有用な支援を認めながら、完成品だけでなく思考過程も評価する立場なので、④が正解です。

---

全訳

AI と作文、そして真の学習

現在、多くの学校が、思春期の生徒に作文を書く際の AI 利用を認めている。支持者によれば、AI は即座に提案を与えることで言語習得を促進できる。意欲はあるものの自信に欠ける学習者でも、いつでも助けを得られる。この柔軟性によって、難しい課題への不安が小さくなり、生徒はより頻繁に練習できるようになる可能性がある。

しかし、上達があらかじめ保証されているわけではない。生徒がすべての提案を受け入れると、その文章は本当の自己表現ではなく、模倣になりかねない。なぜその文が成り立つのかを説明する能力を身につけないまま、洗練された文を作ることもある。したがって、傑出した完成作文が理解の弱さを隠す一方、完成度の低い草稿が、より将来性のある学習者を示す場合もある。

教師は、生徒に初期の草稿を保存させ、自分が行った修正について詳しく説明させることで、この危険を減らせる。また、AI の助言と自分自身の選択を比較させてもよい。このような活動は、支援と判断の異なる役割を明確にする。道具は可能性を示せるが、どの考えが目的に合うのかを決めなければならないのは生徒自身である。

目標は、AI を禁止することでも、作文を AI に支配させることでもない。学校には、有用な支援を認めながら独創性を守る規則が必要である。教師が完成した文章だけでなく、その背後にある思考も評価すれば、AI は学習に取って代わることなく、学習を支援できる。注意深く用いれば、AI は機会を広げるが、受け身で用いれば、教育が育てようとする能力そのものを弱めかねない。